

令和5年度職業能力開発論文コンクール「受賞者の声」

令和5年度職業能力開発論文コンクール特別賞（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長賞）を受賞された戸田 将弘氏が、コンクール事務局の質問に回答してくださいました。

受賞者の声：

Q 1. 普段はどのような業務に携わられていらっしゃいますか。

沖縄職業能力開発大学校 生産機械システム技術科を担当しております。将来の生産技術・生産管理部門のリーダーを育成することを念頭に置き、職業訓練に携わっております。

Q 2. 今回の論文はどの業務に活用して貰いたい（どういった方に読んでいただきたい）ですか。

職業訓練を実施する上で受講者に幾何公差の読図を教えることは、難しい分野の一つだと考えます。本テーマでは、受講者の幾何公差の読図力向上を目指した取り組みをしました。参考になるようでしたら職業訓練に携わる機械系の職業訓練指導員の方々に、本論文をご活用いただけると幸いです。

Q 3. 今回の論文を作成する際に気を付けたことはございますか。

工夫をしたところ（気を付けたところ）の一つとしては、訓練教材の活用前後による受講者の読図力の変化を見えるようにするための調査方法です。幾何公差を記入した機械図面の測定の様子を、作成した実技評価シートに基づき評価することで読図力を調査しました。

Q 4. 今後の応募を検討されている方へのメッセージはございますか。

論文コンクールに応募するまでには、多忙な日々の業務に加えて論文としてまとめる大変さがあり、また、執筆時間の確保も必要かと思えます。そのため、施設関係者等の理解を得ることも重要になってくるかもしれません。

Q 5. 今回の論文を執筆された心境やきっかけをお聞かせください。

本論文の取り組みにあたり、ご指導、ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

ご回答いただきどうもありがとうございました。

令和5年度職業能力開発論文コンクール事務局
基盤整備センター